

特定供給設備の位置及び構造等の変更明細書

1. 変更の理由

2. 特定供給設備の設置先名称及び所在地

設置先名称 _____
 所在地 _____

3. 変更の内容

変更前 _____
 変更後 _____

4. 特定供給設備の技術上の基準に対応する事項

(液化石油ガス法施行規則第53条各号)

※号数の網掛け部分は、施行規則第18条の引用部分を示す。

号	対 応 事 項												
第1号	<p>貯蔵設備の基準</p> <p>イ 設備距離</p> <p>(1) 貯蔵能力 _____ × _____ (本) = _____ kg</p> <p>(2) 設備距離</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">保安物件</th> <th style="width: 25%;">設備距離</th> <th style="width: 25%;">実測距離</th> <th style="width: 25%;">対象物件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1種保安物件</td> <td>m (m)</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2種保安物件</td> <td>m (m)</td> <td>m</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(注) 設備距離の () 内は障壁設置時の距離を示す。</p> <p>(3) 設備距離の不足に対する障壁の必要性 有 ・ 無</p> <p>ロ 障 壁</p> <p>(1) 障壁の構造</p> <p>① 材料 _____</p> <p>② 寸法 (高さ) _____ cm (厚さ) _____ cm</p> <p>③ 配筋 _____ 間隔 (縦) _____ cm (横) _____ cm</p> <p>(2) 扉の構造</p> <p>① 材料 _____</p> <p>② 寸法 (厚さ) _____ mm (高さ) _____ cm (幅) _____ cm</p> <p>③ 補強 等辺山形鋼 (枠) _____ mm × _____ mm (内) _____ mm × _____ mm</p> <p style="margin-left: 40px;">間隔 (縦) _____ cm, _____ cm (横) _____ cm</p>	保安物件	設備距離	実測距離	対象物件	第1種保安物件	m (m)	m		第2種保安物件	m (m)	m	
保安物件	設備距離	実測距離	対象物件										
第1種保安物件	m (m)	m											
第2種保安物件	m (m)	m											

号	対 応 事 項
第 1 号	ハ 火気取扱施設距離等 (1) 火気取扱施設の種類 _____ (2) 火気取扱施設距離 _____ m (3) 火気取扱施設距離が 8 m 以上ない場合の障壁……該当しない。 ① 材料 _____ ② 高さ _____ m ③ 迂回水平距離 _____ m
	ニ 滞留防止措置 (1) 容器置場面積 _____ m ² (2) 法定換気口面積 _____ m ² × 300 cm ² /m ² = _____ cm ² (A) (3) 換気口面積 開口部面積 (縦) _____ cm × (横) _____ cm × _____ ヶ所 = _____ cm ² 鉄筋断面積 _____ cm × _____ cm × _____ 本 × _____ ヶ所 = _____ cm ² 実際換気口面積 _____ - _____ = _____ cm ² (B) (B) > (A)
	ホ さく、へい等の設置……貯蔵設備の建屋と兼ねる。
	ヘ 警戒標 (1) 掲示位置 容器置場入口及び側面 (2) 表示内容 ① L P G 特定供給設備 ② 燃 (赤色文字) ③ 火気厳禁 (赤色文字) (3) (2) に掲げるもののほか、次の事項を表示した標識を掲げる。 ① 特定供給設備の管理者の住所、氏名 _____ ② 電話番号 (昼間・夜間) _____
	ト 消火器 (1) 型式 <u>20型 (A5B12C) 6 kg</u> (2) 個数 _____ 個 (3) 設置場所 _____
	チ 屋根材等 屋根組及び屋根の材料 _____
	リ 転落転倒防止措置 (1) 容器置場は水平でかつ上から物が落ちる恐れがないようにする。 (2) 転倒防止チェーンによる転倒防止措置を講ずる。
	ヌ 腐食防止措置 (1) 充てん容器は全面にわたって十分に防錆塗装がされた容器を使用する。 (2) 容器置場は排水のよい構造とし容器の底部を乾きやすくする。

号	対 応 事 項
第2号	貯槽の基準……貯槽を設置しない。
第3号	容器交換時の供給中断防止措置 _____
第4号	第18条第4号から第8号まで、第10号及び第19号から第21号までの基準
第18条 第4号	貯蔵設備、調整器等の選定 一般消費者等の液化石油ガスの最大消費数量に適応する数量の液化石油ガスを供給しうるものを設置する。 別紙に貯蔵設備、調整器及びガスメーターの選定根拠を記載
第5号	腐食、割れ等の欠陥 バルブ、集合装置及び供給管は、使用上支障のある腐食、割れ等の欠陥がないものを使用する。
第6号	腐食防止措置 バルブ、集合装置及び供給管には、腐食を防止する措置を講ずる。
第7号	使用材料 バルブ、集合装置及び供給管の材料は、その使用条件等に照らし適切なものを使用する。
第8号	集合装置及び供給管に関する基準 イ 高圧部の耐圧試験 充てん容器と調整器の間に設置される管は、2.6MPa以上の耐圧試験に合格するものを使用する。 ロ 低圧部の耐圧試験 調整器とガスメーターの間に設置される管は、0.8MPa以上の耐圧試験に合格するものを使用する。 ハ 中圧部の耐圧試験 2段式減圧用1次側調整器と2次側調整器の間に設置される管は、0.8MPa以上の耐圧試験に合格するものを使用する。 ニ 引張試験 充てん容器等と集合装置に係る集合管を接続する管は、接続状態で1kN以上の引張試験に合格するものを使用する。
第10号	漏えい試験 バルブ、集合装置及び供給管は、漏えい試験に合格するものを使用する。
第19号	気化装置に関する基準……気化装置は設置しない。

号	対 応 事 項
第20号	<p data-bbox="331 185 587 219">調整器に関する基準</p> <p data-bbox="331 309 1356 425">イ 腐食、割れ等の欠陥、液化石油ガスへの適合性 使用上支障のある腐食、割れ、ねじのゆるみ等の欠陥がなく、かつ、消費する液化石油ガスに適合したものを使用する。</p> <p data-bbox="331 472 1077 712">ロ 耐圧試験、気密試験 次の耐圧試験、気密試験に合格するものを使用する。 (1) 2段式減圧用2次側のものを除く調整器 耐圧試験 2.6MPa以上 気密試験 1.56MPa以上 (2) 2段式減圧用2次側の調整器 耐圧試験 0.8MPa以上 気密試験 0.15MPa以上</p> <p data-bbox="331 759 1324 999">ハ 調整圧力、閉そく圧力（2段式減圧用1次側のものを除く。） 次の調整圧力、閉そく圧力のものを使用する。 (1) 生活用の調整器 調整圧力 2.3kPa以上3.3kPa以下 閉そく圧力 3.5kPa以下 (2) 生活用以外の調整器 調整圧力、閉そく圧力は、使用する燃焼器に適合したものを使用する。</p> <p data-bbox="331 1046 1189 1240">※ 調整器の種類、メーカー、型式等 (1) 種類 _____ (2) メーカー _____ (3) 型式 <u>1次側</u> _____ <u>2次側</u> _____ (4) 容量 <u>1次側</u> _____ kg/h <u>個</u> <u>2次側</u> _____ kg/h <u>個</u></p>

貯蔵設備、調整器及びガスメーターの選定根拠

1. 設計条件

- (1) 使用容器の種類 50kg容器
- (2) 液化石油ガスの規格 い号 (PP95%以上)
- (3) 最大消費数量 kg/h

- (4) ピーク時の気温 0 °C
- (5) 50kg容器 1 本当たりのガス発生能力 2.0kg/h
LPガス設備設置基準及び取扱要領 (KHK) より
気温 0 °C時の連続使用のガス発生能力を採用

2. 容器設置本数の計算

- (1) 必要本数 最大消費数量 ÷ 容器 1 本当たりガス発生能力
 = ÷
- (2) 設置本数
- (3) 貯蔵量 50kg × 本 = kg

3. 調整器容量の計算

調整器容量 : 最大消費数量 × 1.5 =

4. ガスメーター容量の計算

メーター容量 : 最大消費数量 × 1.2 =